

「オール新見！公募型まちづくり事業」事業一覧表

No	団体	実施事業名	テーマ	実施事業内容	実施期間
1	写真で新見を繋げる会 (会長 高瀬智司)	写真のチカラ 新見イイトコ再発見プロジェクト	①優れた地域資源の活用	新見市のあらゆる風景などを市内在住・在勤者の協力により撮影し、市外部市部での写真展実施や新見公立大学での展示のほか、市民・学生向けの無料写真セミナーを開催し、写真を通じた新見市のPRを実施した。 ◇撮影した写真を使った巡回展実施 ◇Facebookページによる広報活動	H29-30
2	にいまライスカレー協会 (会長 渡辺誠)	地域資源を活かした商品開発・普及啓発・情報発信への挑戦 ～にいまダムカレー・鍾乳洞カレー大作戦！～	①優れた地域資源の活用	ダムカレー・鍾乳洞カレーを媒体として、新見市の地域資源を活かした商品開発・普及啓発・情報発信を行うための一連の手法確立に向けた取り組みを実践した。 ◇提供店（13店）ごとのダムカレーカードとPRチラシの作成 ◇イベントへの出店・販売・PR ◇ダムカレー提供店を巡るスタンプラリー実施 ◇「にいまダムのある風景写真コンテスト」の実施 ◇ダムを巡りダムカレーを味わうツアー	H29-30
3	千屋振興会 (会長 金盛洋文)	千屋振興会 空き家・移住対策事業	③交流・定住による活性化	空き家が多くなっている現状から売買・賃貸できる物件を掘り起こし、移住希望者にアピール・案内をする。集落機能の維持を図り、希望として移住者のうち何人かは“なりわい”を起こせるよう協力し、地域の活性化につなげる。 また、本取組を他地域へ拡大させるため、行政との協働により、各地域で取組事例の説明などを行った。 ◇「空き家・移住対策研修会」の開催	H29-30
4	NPOきらめき広場 (会長 奥津一富美)	哲西地区空き家活用・移住促進事業	③交流・定住による活性化	空き家情報の収集と売買・賃貸可能物件の掘り起こしをすすめ、新見市並びに他地域と連携し移住希望者の受け入れ態勢の構築を図った。 ◇空き家物件の再調査 ◇売買・賃貸等可能物件の掘り起こし（市担当課と情報共有） ◇「空き家問題を考える会」の開催	H30
5	新見みらいづくり会議実行委員会 (実行委員長 田原隆盛)	新見みらい人材育成事業	②人づくりと人材の活用	市内中学生を対象に、同実行委員会の構成員などが出前授業を行い、新見への思いなどを直接語ってもらうことで、ふるさとへの愛着と誇りをもってもらう。 また、「新見の未来をみんなで創る」ことを目的とした市民参加型の会議を開催した。 ◇出前授業（H30年度は、9校） ◇新見みらいづくり会議の開催	H29-30
6	にいま木のおもちゃの会 (代表 藤本忠男)	生涯木育による地域の活性化	④自由テーマ	岡山県が素材生産量日本一であるヒノキを使った木のおもちゃ等を活用し、イベント実施や公立大学との連携により、子どもをはじめとするすべての人が木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らせる新見市の実現を目指した。 ◇中央図書館に「おもちゃの広場」を定期開設（毎月第4土曜日） ◇「社の忍者になろう！」の開催 ◇森のゆうえんちんにいまの開催 ◇にいま木にかかわりヒトプロジェクト2019の開催 ◇その他、各種団体からの依頼により、出前イベントを実施。	H29-30
7	Re:new (代表 中石いつか)	新見まるごと情報発信事業 ～SNSの活用～	③交流・定住による活性化	行政と民間の持つ柔軟な発想と視点によるSNSを活用した新見市全体の情報発信を実施することにより、新見への愛着を育むとともに、交流人口の増加につなげる。 ◇4つのサイトで新見の情報を発信 ・Re:newホームページ ・ツイッター ・フェイスブック ・インスタグラム	H30-